

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	応用数学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	選択科目(組込みシステムコース)・選択科目(電気エネルギーコース)・選択科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた関数が正則であるかどうかを判定する.</li> <li>・関数の特異点における留数を計算する.</li> <li>・留数の方法で定積分を計算する.</li> <li>・基本的な関数のラプラス変換を求める.</li> <li>・ラプラス変換を用いて2階の線形微分方程式を解く.</li> </ul>						
日程と内容	9月19日 導入講義, 成績評価の方法, コーシー-リーマンの関係式 9月26日 複素関数の例, 解析接続 10月 3日 コーシーの積分定理とその応用 10月10日 コーシーの積分公式とその応用 10月17日 テーラー展開・ローラン展開 10月24日 リーマン面・留数定理 10月31日 演習 11月 7日 フーリエ級数 11月14日 フーリエ変換 11月21日 フーリエ変換の応用 11月28日 ラプラス変換(1) 12月 5日 ラプラス変換(2) 12月12日 ラプラス変換の応用 12月19日 総合復習 1月 9日 定期試験(1) 1月16日 定期試験(2)						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	40%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業の到達目標は講義を通しておおむね達成できた.						
反省点	講義内容に対する理解を深めるための演習課題は配布した講義ノートに記載しているが, 受講生には早めにもみずから手を動かして計算をしてほしかった. このためには, なんらかの強制力が必要だったかもしれない.						
来年度の計画	今年度と同じ内容, 同じ方法で講義を進める. ただし, 課題を早めに提示して学生の予習・復習の動機づけの助けとしたい.						
授業評価アンケートに対するコメント	評価は全体的に高かったが, それはかならずしも成績結果には反映していない. ただ, 比較的少人数の授業であり, 課題の添削指導ができたことは, 好評であったようである.						
履修登録者数	11名	定期試験 受験者数	11名	合格者数	6名	合格率	55%